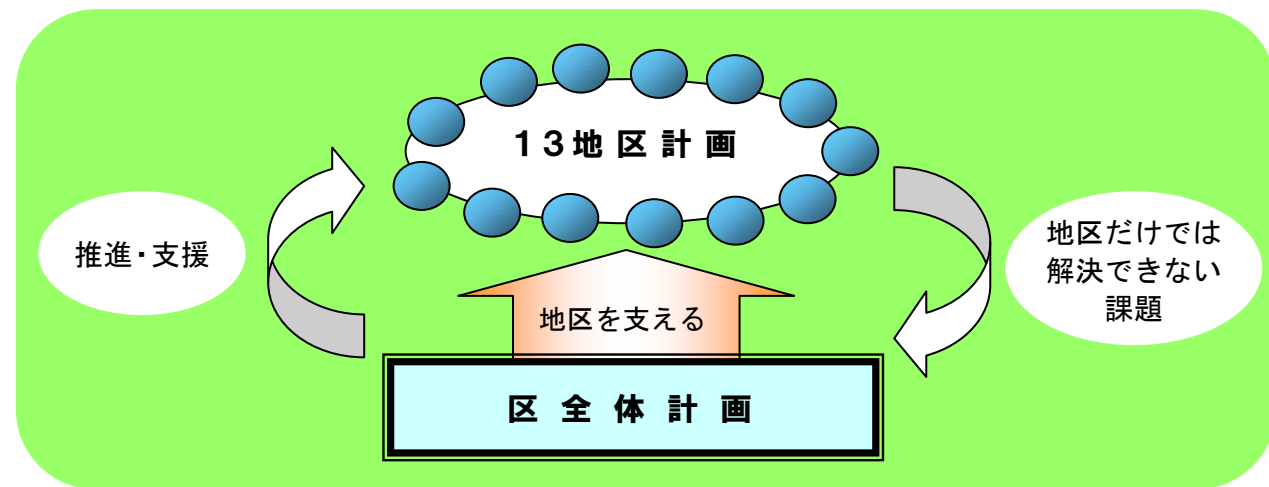


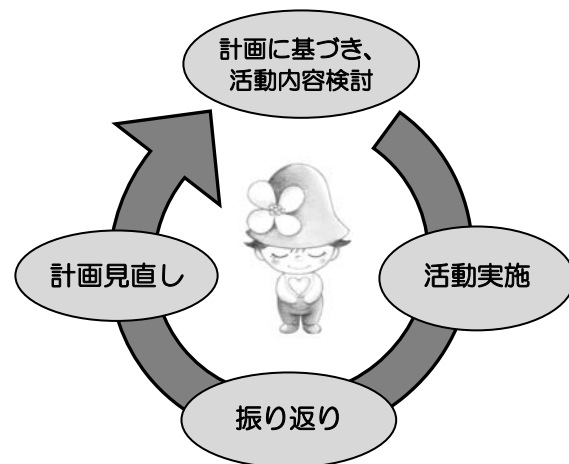
●「ひっとプラン港北」の構成



- ・「ひっとプラン港北」は、連合町内会ごとの13の地区計画と区全体計画から構成されています。
- ・地区計画は、地域の方々が策定委員会を立ち上げ、自ら作成したものです。
- ・区全体計画では、区と区社協が互いに協力し、地域ケアプラザとも連携して、13地区の取り組みがスムーズに行われるように支援するとともに、各地域共通の課題にも取り組みます。

●ひっとプラン港北の進め方

「ひっとプラン港北」は5か年計画ですが、1年ごとに達成状況を確認し、計画を改善していきます。このことにより、「ひっとプラン港北」は、地域の実情を反映しながら毎年成長していくのです。



◆お問い合わせ◆

港北区福祉保健センター
福祉保健課 事業企画担当

TEL : 540-2360
FAX : 540-2368

Mail : ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

横浜市港北区社会福祉協議会

TEL : 547-2324
FAX : 531-9561

Mail : hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp

◆ホームページ◆

・ひっとプラン港北 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/fukuho/fukuhoikeikaku.html>
※「ひっとプラン港北」は、区役所・区社協・地域ケアプラザ等でもご覧いただけます。

ひっとプラン港北 (概要版)

港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画



「ひっとプラン港北」は、地域福祉保健推進のための計画の愛称なんだ。

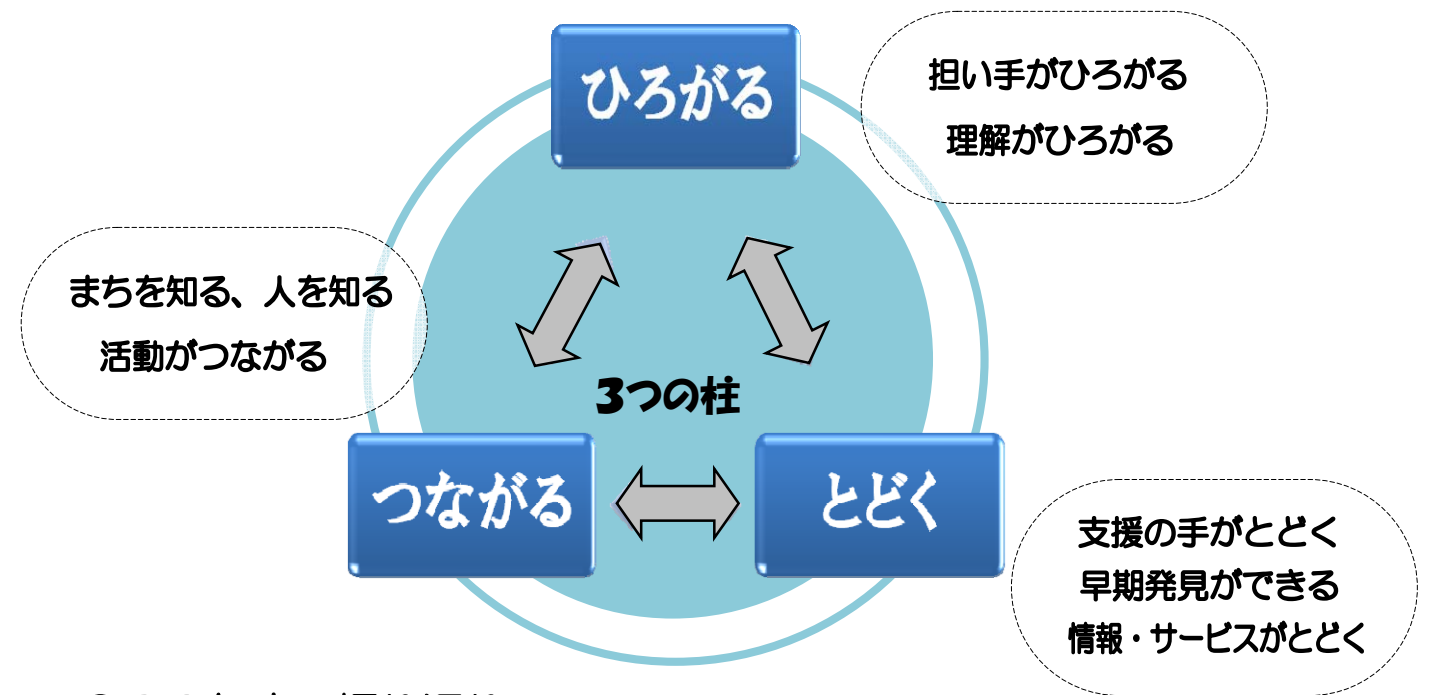
©横浜市港北区ミズキー

●基本理念

「誰もが安心して暮らせるまち港北」

- ・区民の皆様一人ひとりが主役です。地域の力で、身近な福祉保健課題の解決を目指します。
- ・「ひっとプラン港北」は、この基本理念の実現を目指す5か年計画です。
- ・「ひっとプラン港北」は、港北区役所（以下、区）と港北区社会福祉協議会（以下、区社協）が、区民や事業所と協働で推進しています。

●推進の3つの柱 ～ひろがる・つながる・とどく～



●23年度の振り返り

平成23年度にスタートした「ひっとプラン港北」では、「ひろがる つながる とどく」を推進の柱に、6つの目標に沿って区民の皆様と一緒に地域課題の解決に取り組んできました。

東日本大震災をきっかけに、地域で人と人がつながることの大切さが再認識されています。一人ひとりの人権を尊重していくことと同時に、身近な人々と互いに支えあう仕組みをつくっていき、一方で、地域とつながりたくてもその術を持たない人たちの支援をどのように行っていくかを重要な課題と考えて取り組んできました。また、その課題の解決には、区や区社協だけではなく、地域や関係機関、活動団体と連携していくことが必要です。

平成24年度 区全体計画 区役所・区社協は、地域の「ひろがる」「つながる」「とどく」を支援します。

ひろがる

目標1 地域活動を担う人材を広く集めます

地域の福祉保健活動を担う新たな人材の育成や交流を行い、担い手の拡充を図ります。

- 担い手の育成・発掘
 - ◆ 区民活動支援センターと区ボランティアセンターとが連携して、担い手の育成に取り組みます。
 - ◆ 地域での福祉保健活動を支えるコーディネーターを育成します。
- 担い手の交流
 - ◆ 区全域で活動している個人・団体が、共通の目標をもって協働できる場、機会を増やします。

目標2 地域活動が円滑に行えるように支援します

地域での見守り活動等が円滑に行われるような仕組みづくりを支援します。

- 地域活動が円滑に進むための環境づくり
 - ◆ 個人情報が入りやすい理解のもとに活用され、地域での見守り活動が円滑に進むよう、関係者間の情報共有に関する考え方を整理します。

目標3 地区計画の推進を応援します

地区ごとの特徴や課題に応じて地域の方々が主体となって進める活動を支援します。

- 地区計画推進支援
 - ◆ 区・区社協・地域ケアプラザの職員から成る地区計画サポートスタッフが、各地区における地域の方々の主体的な取り組みを支援します。
 - ◆ 地区の活動を地域の方々に広く周知します。また、活動発表や担い手の交流の場をつくることによって、活動の広がりを促します。
- 地区課題の共有化
 - ◆ 地区計画推進にあたって明らかになった課題を区全域の課題として取り組みます。

目標4 福祉保健に関する活動を支援します

地域の福祉保健活動に対して経済的な支援や情報提供などを行います。また、地域の方々が交流する場をつくり、ネットワークづくりに関する支援を行います。

- 福祉保健活動の支援
 - ◆ 補助金交付や広報、団体同士の交流の場づくりなどを行うことにより、地域の方々が主体的に取り組む活動の活性化と継続への支援を行います。
- 地域とつながる交流の場づくり
 - ◆ より身近な地域で交流が活発に行われるために、地域活動の拠点や、地域の様々な世代が交流できる場・機会を増やしていきます。
- 支援者のネットワークづくり
 - ◆ 支援が必要な人を支える人たちが連携して支援を行えるよう、支援者同士が交流する場をつくり、また、スキルアップを図ります。

とどく

目標5 情報を収集し提供する仕組みづくりを進めます

支援を必要とする人に対して、より届きやすい情報提供のあり方を検討するとともに、地域活動団体が行う情報発信を支援します。

- 必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり
 - ◆ 高齢者や障がい者、子育て中の世帯などに、正確でわかりやすい情報を提供していくとともに、より「とどきやすい」方法を検討します。
- 福祉保健活動に関する情報発信
 - ◆ ホームページや広報紙などを通じて地域の福祉保健活動に関する情報を提供し、活動の活性化や担い手の拡充を図ります。
- 地域からの情報発信に対する支援
 - ◆ 技術的支援や仲間づくりなどを通じて、福祉保健活動に関する地域の方々自らの情報発信を支援します。

目標6 必要なサービス・相談支援が届く仕組みづくりを進めます

支援が必要な人を支える仕組みづくり等、誰もが安心して暮らせるまちづくりを支援します。

- 地域で見守る仕組みづくり
 - ◆ 日常的な近所づきあいが安全で安心なまちづくりにつながることや、問題の早期発見の必要性を啓発します。あわせて困ったときに気軽に相談ができ、支援につながるよう、相談支援体制の充実を図ります。
 - ◆ ひとり暮らし高齢者等の支援が必要な人を地域で見守るために、地域と支援機関が情報共有等で連携する仕組みを検討します。
- 高齢者・子育て世帯等の孤立防止、虐待の予防への取り組み支援
 - ◆ 高齢者や子育て世帯などが地域で孤立することなく生き生きと暮らせるよう、地域の方々の交流の場づくりや互いに助け合う活動の支援、相談支援の充実を図ります。
- 高齢者、障がい者、子育て世帯等への理解促進
 - ◆ 障がいや認知症などについて関心と理解を深めるための啓発を行い、誰もが地域で安心して暮らせる地域づくりを進めます。
- 貧困の世代間連鎖への対策
 - ◆ 大学やNPO・地域と協働し、生活困窮世帯への学習支援を継続していきます。

「港北ほくほくフェスタ」開催!!

平成24年10月26日(金) 港北公会堂

※詳細は後日広報等でお知らせします。

今年も、年に1度の福祉のおまつりをやるよ。みんなで遊びにきてね。

